

ツバキ園の植栽変更 (バタフライガーデン)

佐藤祐輔・向井昭彦

ツバキ園を一部植栽変更し、バタフライガーデンを新規に整備したので記録する。フジバカマをはじめとするチョウが訪れる植物を植栽した(図1~2、表)。

はじめに

植栽変更前のツバキ園では、理由は定かではないが、ヤブツバキを除いたほとんどのツバキが開花していなかった。また、一部では枯れが生じ、荒地になっている箇所が見受けられた。そういった現状を改善するために様々な手を尽くしたが、顕著な成果は表れなかった。ツバキ園としての本来の役割を果たしていない状況から、ツバキの開花の有無に関わらず来園者が訪れるような場所として再整備する必要性が生じた。以前より、園内に植栽または自生しているフジバカマにアサギマダラというチョウが飛来することが知られ、そのアサギマダラを目当てに当園を来園する人がいた。アサギマダラは長距離を渡るチョウとして有名で、様々な地域でフジバカマを植栽してアサギマダラを呼び込む活動が行われている。そこで、ツバキ園の一部区画にアサギマダラを呼び込むためのフジバカマを植栽し、新規にバタフライガーデンとして整備することとなった。

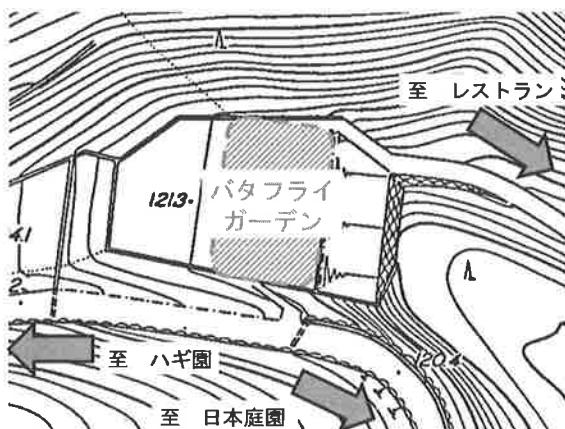


図1 バタフライガーデンの位置図

植栽のコンセプト

バタフライガーデンは、主にアサギマダラが飛来するフジバカマを植栽した。また、アサギマダラが飛来しない時期にもチョウが飛来するようにチョウが好む植物を植栽した。バタフライガーデンとして植栽する箇所は、ツバキ園の肥後ツバキの最下段にあたる場所の半分の土地である(図1)。植栽にあたり区画を8つに分け(図2)、それぞれ以下の基準にしたがって植物を選定した(表)。

区画AおよびB(フジバカマ)

アサギマダラを呼び込むためにフジバカマを植栽する。区画Aでは通常のフジバカマ、区画Bでは矮性種のフジバカマを植栽する。

区画C(ブッドレア)

アサギマダラ以外にも多くのチョウを呼び込むために、チョウがよく来ることからバタフライブッシュと呼ばれているブッドレア類を植栽する。

区画D(外国産フジバカマ)

アサギマダラが飛来するかは定かではないが、フジバカマに近縁な外国産フジバカマ類を植栽する。

区画E(チョウが訪れる草丈の低い植物)

チョウが訪れるような植物で草丈の低い多年草を植栽する。バーベナやシモツケなどを植栽する。

区画F(チョウが訪れる草丈の高い植物)

チョウが訪れるような植物で草丈の高い多年草を植栽する。主にソクズなどを植栽する。

区画G(チョウが訪れる樹木)

一般的なチョウであるアゲハチョウ類の食樹のミカン科の樹木を植栽する。主にサンショウ類を植栽する。

区画H(チョウが訪れる一年草)

チョウの食草や訪花植物の中で一年草のものを植栽する。パンジーやバーベナなどを植栽する。この区画は植物の状態を見て適宜、植栽を変更する。

生育状況および今後の予定

当初の狙い通り、フジバカマにアサギマダラを含め多くのチョウ類が飛来した。特に矮性種のフジバカマでは、他のフジバカマ種群よりも圧倒的に多くの個体が飛来していた。また、アサギマダラ以外にも多くのチョウが飛来していた。このことから、この矮性種のフジバカマを重点的に増殖していくことは効果が高いと考えられる。しかし、フジバカマおよび矮性種のフジバカマにおいては白絹病が多発し、多くの株が枯死した。白絹病対策として、リゾレックス水和剤を株元に複数回灌注したものの効果は見られなかった。今後は、生存株の堀上げ、土壌消毒、排水整備などを行い、健全なフジバカマの生育を図る必要性がある。

表 バタフライガーデン植栽リスト

植栽場所	学名	和名	株数	科名
区画A	<i>Eupatorium japonicum</i> Thunb.	フジバカマ	50	キク科
区画B	<i>Eupatorium japonicum</i> Thunb. <i>Patrinia scabiosifolia</i> Fisch. ex Trevir.	フジバカマ（矮性種） オミナエシ	50 4	キク科
区画C	<i>Buddleja davidii</i> 'Flaming Violet' <i>Buddleja davidii</i> 'Gulliver' <i>Buddleja davidii</i> 'Peace' <i>Buddleja davidii</i> 'Royal Red'	ブッドラア 'フレミングバイオレット' ブッドラア 'ガリバー' ブッドラア 'ピース' ブッドラア 'ロイヤルレッド'	2 1 1 2	ゴマノハグサ科
区画D	<i>Ageratina altissima</i> (L.) R.M.King et H.Rob. <i>Ageratina altissima</i> 'Chocolate' <i>Conoclinium coelestinum</i> (L.) DC. <i>Eupatorium</i> 'Hagoromo' <i>Eupatorium capikkifolium</i> 'Green Feather' <i>Eupatorium</i> cv. <i>Eupatorium maculatum</i> 'Atropurpureum'	マルバフジバカマ ユーパトリウム 'チョコレート' アオイロフジバカマ ハゴロモフジバカマ ユーパトリウム 'グリーンフェザー' 斑入りフジバカマ ユーパトリウム 'アトロブルプレウム'	1 1 3 1 1 1 1	キク科
区画E	<i>Agastache rugosa</i> (Fisch. et C.A.Mey.) Kuntze <i>Aster tataricus</i> L.f. <i>Nepeta x faassenii</i> 'Junior Walker' <i>Physostegia virginiana</i> (L.) Benth. <i>Spiraea japonica</i> L.f. <i>Spiraea japonica</i> L.f. f. <i>albiflora</i> (Miq.) Kitam. <i>Spiraea nipponica</i> Maxim. var. <i>tosaensis</i> (Yatabe) Makino <i>Verbena bonariensis</i> L. <i>Verbena hastata</i> 'Blue Spires' <i>Verbena hastata</i> 'Pink Spires' <i>Verbena hastata</i> 'White Spires' <i>Veronicastrum japonicum</i> (Nakai) T.Yamaz. var. <i>japonicum</i>	カワミドリ シオン ネペタ 'ジュニアウオーカー' ハナトラノオ シモツケ シロバナシモツケ トサシモツケ ヤナギハナガサ ブルーバーベイン ピンクバーベイン ホワイトバーベイン クガイソウ	7 2 6 20 3 1 2 10 10 10 8	シソ科 キク科 シソ科 シソ科 バラ科 クマツヅラ科 オオバコ科
区画F	<i>Abelia mosanensis</i> <i>Buddleja</i> 'Blue Chip' <i>Buddleja</i> 'Flower Power' <i>Buddleja</i> 'Miss Ruby' <i>Buddleja alternifolia</i> Maxim. <i>Buddleja davidii</i> 'Gulliver' <i>Buddleja davidii</i> Franch. <i>Sambucus chinensis</i> Lindl. <i>Sambucus nigra</i> L. <i>Sambucus racemosa</i> L. subsp. <i>sieboldiana</i> (Miq.) H.Hara	アベリア・モサンensis ブッドラア '藍姫' ブッドラア 'フラワー・パワー' ブッドラア '紅姫' ブッドラア 'アルテニフォリア' ブッドラア 'ガリバー' フサフジウツギ ソクズ セイヨウニワトコ ニワトコ	1 2 1 2 1 1 6 6 1 1	スイカズラ科 ゴマノハグサ科
区画G	<i>Citrus trifoliata</i> L. <i>Zanthoxylum ailanthoides</i> Siebold et Zucc. <i>Zanthoxylum piperitum</i> (L.) DC. <i>Zanthoxylum schinifolium</i> Siebold et Zucc.	カラタチ カラスザンショウ サンショウ イヌザンショウ	1 1 1 1	ミカン科
区画H	<i>Brassica rapa</i> var. <i>nippo-oleifera</i> <i>Coleus</i> cv. <i>Petroselinum crispum</i> (Mill.) Fuss <i>Verbena</i> cv. <i>Viola x wittrockiana</i> Hort. ex Gams	アブラナ コリウス パセリ バーベナ パンジー	20 20 20 40 40	アブラナ科 シソ科 セリ科 クマツヅラ科 スミレ科

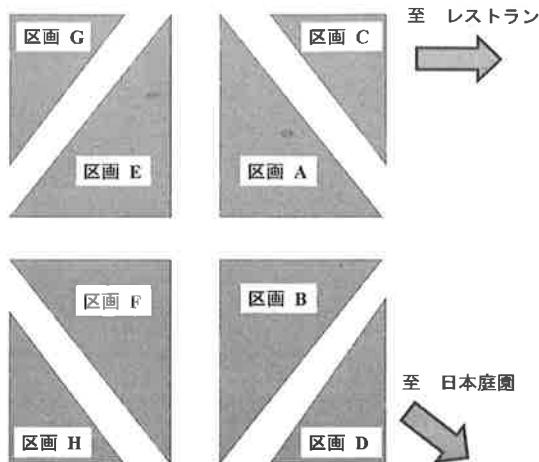


図2 バタフライガーデンの植栽区画図